

## 食材価格高騰と給食の質の維持

### 1. 食材価格の推移

#### (1) 副食

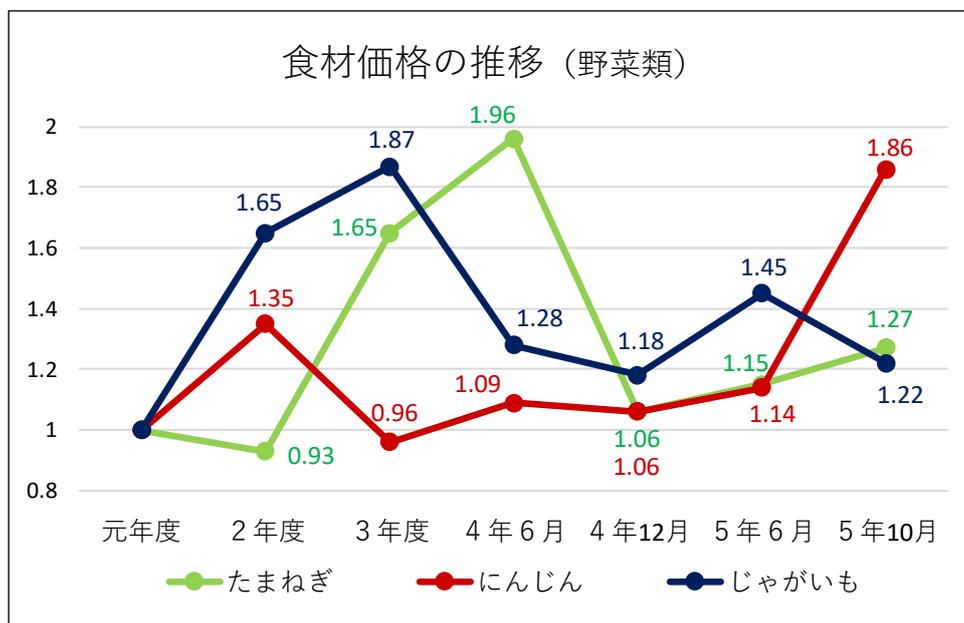
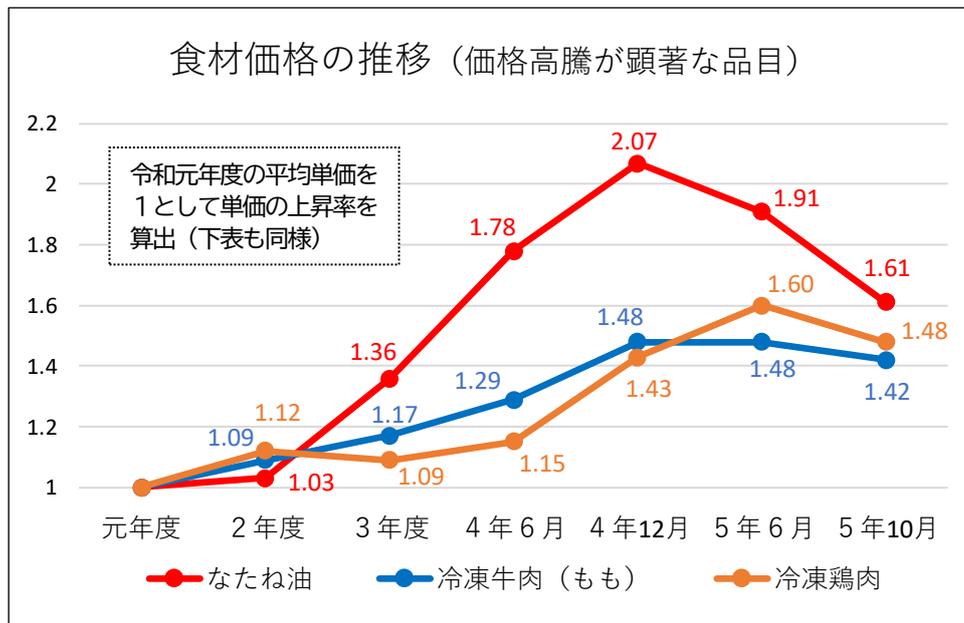
- 給食での取り扱いが多い 20 品目の購入単価について、コロナ禍前の令和元年度との比較で、高い水準が続いている。

#### 【主要 20 品目の価格の推移】

	令和3年度	令和4年度	令和5年6月	令和5年10月
令和元年度比	1.15 倍	1.25 倍	1.32 倍	1.36 倍

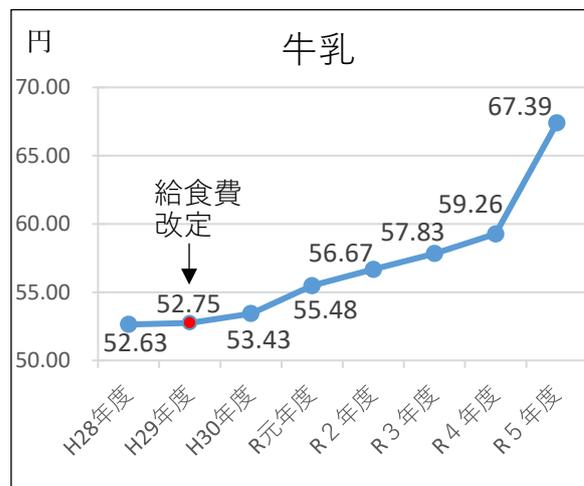
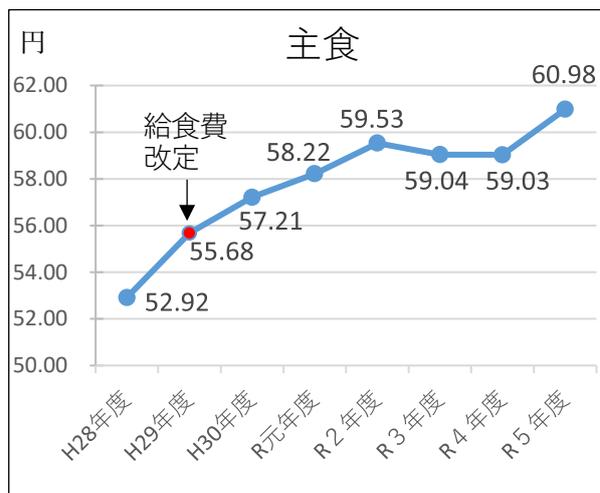
※令和元年度の平均単価を 1 とした場合の単価の上昇率

#### 【個別品目の価格の推移】



## (2) 主食・牛乳（1食あたり単価の推移）

・平成29年度の給食費改定後、主食が約5円、牛乳が約15円値上がりしている。



平成29年度      令和5年度  
@55.68円 ⇒ @60.98円(+5.3円)

平成29年度      令和5年度  
@52.75円 ⇒ @67.39円(+14.64円)

## 2. 給食の1食あたり単価と栄養バランスの関係

### (1) 献立のシミュレーション

・令和4年度より、高騰する食材費の増額分を公費負担することで、コロナ禍前と同等のメニューで献立を作成し、給食の提供を行っているが、令和5年7月及び10月の献立を、仮に1食あたり260円（給食費の単価）におさめようとすると、以下のような対応が必要になる。

	令和5年7月	令和5年10月
①デザート・ふりかけ等を提供しない	5回 ▲13.7円	6回 ▲14.5円
②3品目のおかずを提供しない	2回 ▲8.1円	2回 ▲5.3円
③煮物・汁物を単価の安いメニューに変更する	6回 ▲18.3円	11回 ▲13.3円
④具（豚肉等）の量を減らす	2回 ▲2.9円	7回 ▲15.9円
⑤おかずを1品にする	2回 ▲4.5円	2回 ▲5.9円
計	▲47.5円	▲54.9円

※主食・牛乳の単価がさらに値上がりした場合には、その分副食にかけることができる金額が減るため、「⑤おかずを1品にする」の回数を増やすなど、上記以上に厳しい対応が必要となる。

## (2) 栄養量の算出

- ・前ページのシミュレーションに基づき、栄養量を算出すると以下のとおりとなる。  
(小学校中学年で試算。栄養量は「日本食品標準成分表 2015 年版 (七訂)」に基づき算出。)

	学校給食 摂取基準	令和5年7月 (仮)	令和5年10月 (仮)	令和5年10月 (※)
エネルギー (kcal)	650	▼ 610	▼ 601	▼ 574
たんぱく質 (%)	13~20	15.2	15.9	15.8
脂質 (%)	20~30	28.8	28.8	29.3
食塩相当量 (g)	2 未満	2.1	2.1	1.6
カルシウム (mg)	350	▼ 308	▼ 310	▼ 284
鉄 (mg)	3	▼ 1.9	▼ 2.1	▼ 1.6
ビタミンA (μg RAE)	200	337	324	285
ビタミンB1 (mg)	0.4	▼ 0.35	▼ 0.35	▼ 0.33
ビタミンB2 (mg)	0.4	0.48	0.48	0.46
ビタミンC (mg)	25	▼ 19	▼ 20	▼ 14
食物繊維 (g)	4.5	▼ 4	▼ 3	▼ 3

※仮に、主食・牛乳の単価が値上がりすること (最大+20 円) を見込んだ場合

- ・食材価格が高い水準が続く中で、現行の1食あたりの給食費単価では、児童生徒にとって必要なエネルギー摂取量を満たすことができず、栄養バランスのとれた給食を提供することはできないものと考えられる。

### 3. 児童生徒に必要な栄養量等を満たすための1食あたり給食費単価 (案)

食材価格の水準	献立※	小学校(現行@260 円)	中学校(現行@340 円)
①令和5年度と同水準程度と見込む場合	A	@310 円程度(+50 円)	@370 円程度(+30 円)
	B	@300 円程度(+40 円)	@360 円程度(+20 円)
②主食・牛乳の値上げを見込む場合(最大+20 円程度)	A	@330 円程度(+70 円)	@390 円程度(+50 円)
	B	@320 円程度(+60 円)	@380 円程度(+40 円)

※献立の水準について

A : 令和5年度と同水準の献立とする場合

B : 一部献立を単価の安いメニューに変更するなど、栄養摂取基準を満たす範囲で工夫を行う場合 (量そのものは減らさず、一部食材を変更 [牛肉⇒豚肉] するなど)

[参考①] 小学校給食費（1食単価）の推移

改定年度	給食費	改定幅	改定理由
S60	173 円	14 円	
H4	191 円	18 円	消費税(平成元年～3%)、食材価格上昇等
H12	215 円	24 円	消費税(平成9年～5%)、米穀補助廃止等
H19	233 円	18 円	食材価格上昇、米飯回数増等
H29	260 円	27 円	消費税(平成26年～8%)、食材価格上昇等

[参考②] 中学校給食費（1食単価）の推移

年 度	主食+副食	牛乳	合計	備 考
～R元	244 円	56 円	300 円	
R2	280 円	57 円	337 円	給食費改定、牛乳選択制導入
R3	280 円	58 円	338 円	
R4・R5	280 円	60 円	340 円	

※令和2年度からは半額助成を実施しているため、保護者負担は上記表の1/2の金額

[参考③] 給食費1食単価の他都市の状況（令和5年度）

(1) 小学校

- ・政令指定都市平均 269 円 (243 円～306 円)
- ・県内都市平均 249 円 (210 円～275 円)

(2) 中学校（牛乳を含む）

- ・政令指定都市平均 328 円 (289 円～376 円)
- ・県内都市平均 286 円 (240 円～340 円)

※県内都市は28市（設定額が不明の1市を除く）の平均